

わたしは――

ぼくと

会えたなら、

もう一度だけ

We just
long to see you
one more
time.

越 尾 圭

Kei Koshio

ママと話したい、
伝えたい――。

十年分の“想い”が、七夕の夜に交差する。

大切な人の最後の言葉は、誰よりも優しくかった。

幻冬舎文庫

『ぼくが生きて
いうことは、
きみが死ぬということ』の

感動再び。